

**答** 平成30年度から国保の広域化により、埼玉県が財政運営の責任主体として保険者に加わっている。埼玉県の示す国民健康保険運営方針において、賦課限度額は法定額のとおり設定し、県内どこでも同じ賦課限度額となるよう目指すと明記されているため、今後は順次保険税の平準化が図られていくものと考えている。

○平成30年度行田市国民健康保険事業費特別会計補正予算

**問** 人間ドックの受診者数増加の要因は。

**答** 市報や医療機関などで、特定健診の受診勧奨とあわせてPRを行っていることや、より詳細な健診を希望して特定健診から人間ドックに移行する方もいるなど、市民の健康意識が高まっていることが考えられる。

○平成30年度行田市一般会計補正予算(第3回)

**問** 障害者福祉費に関し、利用者増加の要因は。

**答** 障害者手帳保持者が年々増加していることが主な要因である。この要因としては、マスコミヤインターネットなどを通じて、障害者福祉サー

ビス制度の情報が得やすくなり、そのメリットを認識してきたこと、障害は早い時期から適切な対応をとることが最善だという認識をしている方が多くなってきたこと、各種法令に基づき、事業所等の整備が進んでおり、必要な方に必要なサービスを提供するサービスが整備されてきたことなどが考えられる。

**問** 中央小の学童保育室で受け入れている他学区の児童は、みずしる学童保育室に優先的に入室することになるのか。

**答** 来年度、入室児童が確定した結果、他学区の児童がみずしる学童保育室に入室する可能性はあるが、他学区の児童が優先的にみずしる学童保育室に入室するということはない。

**問** みずしる学童保育室の改修を計画する際、中央小の空き教室の検討は行ったのか。

**答** 来年度に間に合うよう早急に学童保育室の整備を行う必要がある中で、まずは、自らの所管である児童センターの改修を行う方が、調整も容易で早期に施設改修に取り掛かれると判断したものである。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

12月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継(開催日のみ)・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

\*12月定例会の会議録は2月に発行予定です。

# 一般質問



専用アプリで読み取ると  
議会中継がご覧いただけます。

## ごみは資源

### 小針の土地活用

石井直彦  
(発言と行動する会)

施設整備費248億円、運営維持管理費が20年間で170億円、温浴施設や土地の買収整備等に20億円以上、その他維持管理費も含め20年間で合計500億円以上の事業を鴻巣市に引き渡すことに危惧している。また70名から100名の雇用が見込める事業にもかかわらず、指をくわえて見ていただけに感じてならない。

**問** 本市には施設建設予定地があるため、事業実施は市内で考えるべきだ。

**答** 市長は、鴻巣市に造る温浴施設が行田市民の福利厚生になると答弁しているが、本市の代表としてそのように考えていることに憤りすら感じる。

**問** 施設建設予定地として小針の土地は考えたか。

**答** 地理的に三市の中心となる鴻巣市内に建設するという鴻巣市長からの提案を受け、広域で取り

組む上で妥当と判断した。

**問** 疑惑・隠蔽の安養寺の土地について再調査は必要なのか。

**答** 事業を円滑に進めるため、評価基準の変更や候補地の削除があったが、選定結果の妥当性が問われるものではないと認識している。

**問** 施設建設検討委員会の開催が延期された理由についてどのような報告があったか。

**答** 正副委員長より、組合で市場調査を行い、その結果を踏まえて検討したいとの申し入れが、組合事務局へあったためとの報告を受けている。

●観光協会の独立

**問** 観光協会は委託者と受託者が市長だが、独立させる考えはないのか。

**答** 市長が観光協会の会長を兼任することで、連携が密になり柔軟・迅速な事業実施が可能となる。